

令和5年度事業計画

令和4年度は、コロナ感染症の行動制限の緩和等を踏まえて、当協会では3年ぶりに東京、大阪などの大都市圏で観光客誘致説明会などを開催し、誘致拡大と本県の知名度向上を図るとともに、地域資源をいかした観光地域づくりを推進するため、データ分析・マーケティング¹の強化や観光地域づくり実践地域の支援に取り組んだ。

令和5年度は、水際制限緩和やコロナ感染症の5類見直しで、国内外ともに本格的な観光再興の一年となる。本県では、4月には盛岡に新野球場「いわて盛岡ボールパーク」のオープンと「盛岡市動物公園ZOOMO」のリニューアルオープン、4月以降幾度にわたる大型外航クルーズ船の宮古寄港、6月には第73回全国植樹祭いわて2023の開催、令和6年1月から3月まではJR東日本と連携した冬季観光キャンペーンが予定されている。さらに、ニューヨーク・タイムズ紙で盛岡市が「2023年に行くべき52カ所」の2番目に選ばれたことを追い風に、岩手を国内外へアピールする好機と捉え、県内各地の観光資源や周辺観光をホームページやSNS²などで広く情報発信し、観光客が県全体を周遊するよう誘致拡大に取り組む。

国内観光については、各種観光キャンペーンなどで、三つの世界遺産はもとより、首都圏からの主要アクセスである東北新幹線や整備された復興道路の利便性を強調しながら、コロナ後の観光客の本格回復に取り組む。

国際観光については、いわて花巻空港・台北線の運航再開が5月に予定される中、外国人観光客対応の接客研修によるおもてなし強化とともに、県や関係団体と連携して、情報発信やオンラインも含めた商談会開催等に引き続き取り組む。

一方、地域間競争に対応できる観光地域づくりを推進するため、当協会が将来的に観光庁の登録DMO³（観光地域づくり法人）となることを視野に、令和4年度に引き続き観光データの収集や分析を通じて、各地域の行う観光戦略づくりや効果的な誘致活動を充分支援できるよう機能強化を図っていく。

こうした考え方に立って、協会賛助会員（県、市町村、市町村観光協会、観光関係団体、民間企業等）と緊密に連携し、以下の重点事項を中心に事業を展開する。

1 観光宣伝紹介

国内外からの本格的な観光再開に向けて、観光総合サイト「いわての旅」やSNSなどの活用により、話題の盛岡を足がかりとして、周辺及び県内観光スポットにも関心が広がるよう、改めて本県観光の魅力を発信する。

2 国内観光客の誘致促進

大都市圏からの観光客の誘致拡大と本県の知名度向上を図るため、観光客誘致説明会を対面やオンラインで開催し、引き続き本県観光の魅力発信に取り組む。

教育旅行についても誘致説明会を開催し、探究学習（SDGs⁴や歴史・防災学習など）を主体とする旅行や受入態勢などの紹介宣伝を行う。

3 国際観光の推進

外国人観光客の誘致拡大を図るため、関係機関と連携して、台湾や韓国などでの旅行博や商談会へオンライン等で参加し、本県観光の紹介宣伝を行うほか、来県する海外の新聞社、テレビ局や旅行会社の県内視察や商談会を実施する。

4 受入態勢の整備

本県のおもてなしの一層の向上を図るため、引き続き、観光従事者向けに接遇研修会を実施するほか、外国人観光客の本格的な増加に対応するため、台湾、中国人対応の接遇研修会などを実施し、観光人材の技能や知識の向上を図る。

5 観光団体等への支援と連携

本県への観光客の誘致拡大を図るため、観光団体等の取組を支援するほか、国内外で開催される観光PRイベントへの参加や、関係機関との連携に必要な負担金の拠出、協力をを行う。

また、賛助会員の意向を事業運営に最大限反映できるよう、随時その把握に努める。

6 協会の機能強化

地域間競争に対応できる観光地域づくりを目指すため、「いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光DMP）⁵」を活用したデータの収集・分析を行い、結果の還元・応用や独自にデータ分析ができる人材の育成を行うほか、各地域の行う観光地域づくり（課題分析や戦略立案など）を支援できるよう、当協会の機能を引き続き強化する。

事業別事業計画

I 【観光宣伝紹介】

1 観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

県とともに観光情報総合サイト「いわての旅」を改修し、人工知能を活用して観光情報の集積や発信を強化するとともに、今年掲載した盛岡まち歩き特集に引き続き、周辺の新たな観光スポット特集などを制作する。

また、英語版SNSに加え、引き続き「いわての旅」において外国語版サイトや海外向け動画などを紹介し、本県観光の魅力を海外に発信する。

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会の観光総合サイト「全国 観るなび」を活用した情報発信のため、「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出する。

(3) パブリシティ⁶(宣伝媒体)有効活用事業

首都圏や近県等で販売、配布される地域情報誌等を活用した観光情報の発信に取り組む。

(4) 観光宣伝媒体作成事業

「岩手県観光案内図(いわて旅の地図)」を更新・増刷しながら、本県を訪れる観光客等に広く配布する。

(5) 観光キャラクター活用事業

PRキャラクター「わんこきょうだい」グッズを作製し、各種観光キャンペーンなどで広く配布する。

II 【国内観光客の誘致促進】

1 国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、名古屋市及び大阪市において、旅行商品造成・仕入担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催するほか、近距離旅行の需要掘り起こしや三陸沿岸道路による一層の誘致を図るため、仙台圏の旅行会社を対象としたオンライン商談会を開催する。

(2) エージェント(旅行会社)招待事業

三陸沿岸道路等を活用した沿岸・県北地域の旅行商品の造成や販売、新たな観光資源の発掘や磨き上げを促進するため、県外旅行会社を招待し、現地視察及び意見交換を行う。

2 教育旅行の誘致促進

札幌市、東京都及び大阪市において教育旅行誘致説明会を開催するとともに、それ以外

の地域(北関東や東海地区など)を補完するオンライン説明会を開催し、本県の魅力ある教育旅行メニューや受入態勢等の紹介宣伝を行う。

また、探究学習(SDGsや歴史・防災学習など)を主体とした資料を充実させ、教育旅行での学びに取り組む学校に紹介宣伝を行う。

Ⅲ 【国際観光の推進】

1 外国人観光客の誘致宣伝

外国人観光客の誘致に向けて、関係機関と連携して台湾などでの旅行博や現地旅行会社との商談会にオンライン等で参加し、観光地の紹介や情報の発信に取り組む。

2 外国人観光客の受入

(1) 国際航空便歓迎行事等

いわて花巻空港を利用して来県する台湾などからの外国人観光客に対して、歓迎メッセージの掲出や記念品配布等の歓迎行事を実施する。

(2) 外国人観光案内所運営支援(いわて・盛岡広域観光センター)

盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所⁷」の運営に対し経費の一部を負担する。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

本県に海外の新聞社、テレビ局や旅行会社を受け入れる際、滞在環境等について意見交換するほか、県内視察や観光関係者との商談会を実施する。

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を県から受託して、韓国で開催される観光商談会へのオンライン参加など、4道県が連携して実施する事業を行う。

Ⅳ 【受入態勢の整備】

1 来県する観光客への対応

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」・「V案内所」管理運営

協会に「いわて観光おもてなしセンター」及び「V案内所」を設置し、国内外からの来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応する。

(2) いわて・盛岡広域観光センター運営支援

本県の観光情報の提供や相談対応を行う盛岡駅2階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」の運営に対し、経費の一部を負担する。

2 観光人材の育成

(1) ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドの技術向上とネットワーク化を目的とした「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」の活動に対し経費支援を行う。

(2) 観光業務優良従事者表彰

5月16日の「観光の日⁸」事業の一環として、各団体から他の模範とするに足ると認められて推薦された者を優良従事者として表彰する。

(3) 接遇及び観光課題研修事業

県内の観光事業者や団体職員を対象とした接遇研修会のほか、昨年度実施した英語版に引き続き、台湾、中国人対応の会話・接遇研修会を実施し、来県する外国人観光客のおもてなしに対応する。また、ニーズの高いSNS利活用の研修会を実施する。

このほか、県内各地で開催される接遇研修会に、本協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター⁹」等を講師として派遣する。

3 多様な顧客ニーズへの対応

(1) 「いわてバリアフリー観光¹⁰情報案内所」管理運営

協会に設置した「いわてバリアフリー観光情報案内所」において、県内宿泊施設等のバリアフリー観光への対応状況について情報提供するほか、受入を促進するための研修会を行う。

(2) 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦2000(平成12)年に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう、5月16日を「いわて観光の日」と定めており、この日を記念して講演会等を行う。

V 【観光団体等への支援と連携】

1 関係団体等への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会に対する負担金を拠出し、その活動を支援する。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会に対する負担金を拠出し、スキー客等の誘客活動を支援する。

(3) 各種キャンペーン支援事業

県や関係機関が実施する各種観光キャンペーンへの支援・協力として観光イベントに参加・出展し、観光PRを行う。

(4) 賛助会員のニーズ把握及び自主的取組への支援

賛助会員から、随時、訪問や電話、アンケートによりニーズを聴き取り、事業運営に反映するとともに、賛助会員の行う自主的な観光振興の取組に対して支援、協力を行う。

2 関係団体等との連携

(1) (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出する。

(2) (一社) 東北観光推進機構事業

東北7県・民間団体等で構成する(一社)東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーション¹¹や教育旅行の誘致活動などを通じて、本県への観光客の誘致拡大を図るため、同機構に対し負担金を拠出する。

(3) 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う、首都圏等でのプロモーションや新聞社・テレビ局・旅行会社等の招請事業を通じて、本県への観光客の誘致拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出する。

(4) 観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対して負担金を拠出する。

VI 【協会の機能強化】

1 魅力ある観光地域づくりへの支援

(1) データ分析・マーケティングの強化

地域資源を生かした特色ある優れた観光地域づくりを推進するため、県や専門人材と連携し、昨年度から構築している「いわて観光データマネジメントプラットフォーム(いわて観光DMP)」を活用したデータの収集・分析結果を還元するほか、新たなデータや顧客管理の仕組みを追加して機能を拡張する。

また、研修会を開催し、これら機能を活用したデータマーケティング¹²人材の育成を図る。

(2) 観光地域づくり実践地域の育成

昨年度に引き続き、観光地域づくりに課題を抱える地域に専門人材を派遣して、「いわて観光DMP」を活用しながら、課題分析や戦略立案などを行い、観光地域づくりの高度化を支援する。

Ⅶ 【その他】

- 1 観光団体等が主催するMICE¹³の誘致活動に対して支援、協力を行う。
- 2 国際リニアコライダー（ILC）¹⁴の実現に向けて、観光面から支援、協力を行う。
- 3 県や関係団体のグローバル人材の育成活動に対し、観光面から支援、協力を行う。

-
- 1 マーケティング：目的地が観光客を受け入れるに当たり、観光客のニーズや需要を予測、把握し満足させること。
 - 2 SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。
Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、LINE(ライン)などインターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用のWebサービスの総称。
 - 3 DMO：Destination Management/Marketing Organizationの略。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、データマーケティングなどの科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。観光庁の登録要件を満たす法人は「登録DMO」に、その候補となり得る法人は「候補DMO」として登録される。
 - 4 SDGs：Sustainable Development Goalsの略。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。
 - 5 いわて観光データマネジメントプラットフォーム：科学的アプローチによる合理的な判断に基づき、着地整備の効果的な展開や戦略的なプロモーションを実施するため、令和4年度より岩手県が整備している各種観光データの収納・分析機能を備えたシステムのこと。
 - 6 パブリシティ：マスコミ媒体にニュースや記事として取り上げられるよう働きかける活動のこと。
 - 7 V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光案内所(ビジット・ジャパン案内所)。
 - 8 観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である5月16日を「いわて観光の日」として制定。
 - 9 いわて観光おもてなしマイスター：マイスターは「名人」などを意味し、いわて観光おもてなしマイスターは、おもてなしの心と豊富な観光知識で観光客に対応することができる方として、当協会が認定。(現在54名)
 - 10 バリアフリー観光：すべての人が楽しめるように創られた旅行。主に高齢者や障がい者に対応した旅行のこと。
 - 11 プロモーション：商品(サービス)の販売、認知、理解、好感度、ブランド価値を促進させる一切の活動のこと。
 - 12 データマーケティング：収集した顧客データや購買データをビジュアル化・可視化して、顧客へのアプローチにいかすマーケティング手法のこと。
 - 13 MICE：Meeting(企業等の会議)、Incentive Travel(企業等の行う報奨・研修旅行)、Convention(国際機関・団体、学会等が行う国際会議)、Exhibition / Event(展示会・見本市、イベント)の頭文字をとったもの。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
 - 14 ILC：国際リニアコライダー：地下トンネルに建設される大規模研究施設で、大型の線型加速器としては、世界最高・最先端の電子・陽電子衝突型加速器。